

チャノキイロアザミウマ情報第3号

令和元年7月2日
愛知県農業総合試験場
環境基盤研究部病害虫防除室

ほ場周囲の生息数は平年に比べて多い状況が続いています！
ほ場での発生状況に注意し、適期に防除しましょう

1 発生状況

6月下旬に行った、ほ場周囲における本種の生息数調査（イヌマキ（防風垣）10 新梢の払い落とし虫数）において、ウンシュウミカン（22 ほ場平均）では 51.8 頭（平年 10.1 頭、前年 14.8 頭）で過去 10 年と比較して最も多い状況が続いており（図 1）、ブドウ（11 ほ場平均）でも 6.0 頭（平年 3.9 頭、前年 4.0 頭）でやや多い状況が続いています。

黄色粘着トラップによるチャノキイロアザミウマ成虫の誘殺数は、各地点とも6月上旬から中旬にはほぼ平年並となりましたが、その後東浦町のブドウ（図 2）や南知多町のウンシュウミカンほ場では急増しています。

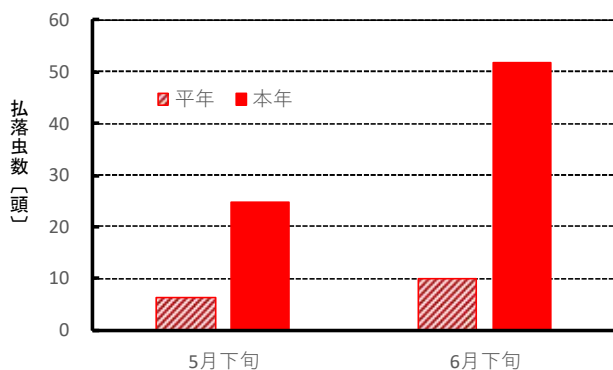


図1 ウンシュウミカンほ場周囲のイヌマキ（防風垣）におけるチャノキイロアザミウマ生息数調査結果

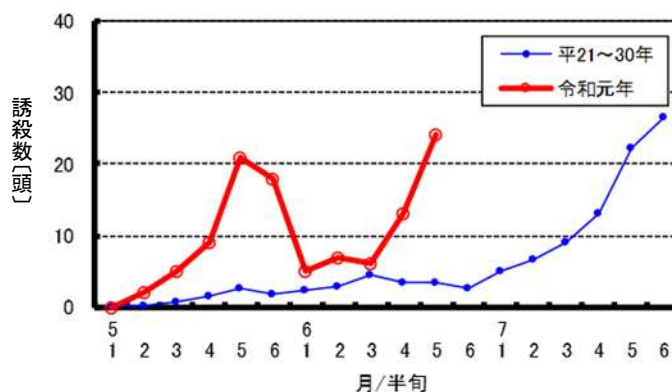


図2 黄色粘着トラップによるチャノキイロアザミウマ成虫誘殺状況（東浦町・ブドウ）

2 発生ピークの予測と防除

本種は成虫の発生ピーク時期が防除適期です。有効積算温度を利用したチャノキイロアザミウマ第3世代成虫の発生ピーク予測日は、中山間部に位置する稲武を除いて 7月5日から13日で、前年より4日から6日遅いと予測します（表）。発生の多いほ場では、表の第3世代成虫発生ピーク時期に防除を実施しましょう。

なお、6月27日名古屋地方気象台発表の1か月予報では、気温は平年並と予想されていますが、気温が高く推移するとピーク日が早くなる可能性があるため、今後の気象状況に注意してください。

表 チャノキイロアザミウマ成虫の発生ピーク予測日

	愛西	南知多	名古屋	豊田	大府	岡崎	蒲郡	豊橋	伊良湖	新城	稲武
第2世代	6/18	6/19	6/13	6/19	6/14	6/20	6/18	6/18	6/17	6/22	7/11
第3世代	7/9	7/10	7/5	7/10	7/5	7/11	7/9	7/9	7/9	7/13	8/3
(前年)	7/5	7/5	6/30	7/4	7/1	7/5	7/4	7/4	7/4	7/8	7/4*
前年差	4日遅	5日遅	5日遅	6日遅	4日遅	6日遅	5日遅	5日遅	5日遅	4日遅	8日遅*
第4世代	7/27	7/29	7/23	7/29	7/23	7/29	7/28	7/26	7/28	8/1	8/25

各地のアメダス平均気温から予測。 ※稲武については、第2世代の前年ピーク日と前年差。

7月1日までは実測値を、それ以降は平年値（豊橋、大府は前年値）を用いて計算。

前年の第3世代は、前年気温の実測値を用いて計算。